

平成 29 年度 岩手県 Kenji Cup 高校生英語ディベート大会 実施要項

平成 29 年 7 月 13 日
岩手県教育委員会事務局学校教育課

1 趣旨

学習指導要領における生徒の思考力、判断力、表現力の育成及び「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」更には新学習指導要領で目指している言語活動の高度化に鑑み、社会に通用する英語力の向上に向けた取組を通じて生徒の英語発信力の向上に資する。

2 主催

岩手県教育委員会

3 期日

平成 29 年 11 月 1 日（水） 9:00～16:30（予定）

4 会場

岩手県立総合教育センター

〒025-0395 岩手県花巻市北湯口第 2 地割 82 番 1

電話（代表）：0198-27-2711 FAX: 0198-27-3562

5 参加条件

- (1) 岩手県内の高校生を対象とする。ただし、英語のネイティブスピーカーを除く。
- (2) 次のア～ウの海外生活経験者等の条件に該当する者は 1 チーム 2 名までとし、各試合に出場できるのは 1 名までとする。（試合ごとの変更は可能）
 - ア 英語を第 1 言語とする国で 12 か月以上滞在経験のある生徒（就学前の滞在は不問）
 - イ 英語を第 2 言語とする国の出身である生徒（就学前の滞在は不問）
 - ウ 家庭で常用的に英語を使用している生徒
- (3) 出場校の日本人英語教員が引率者となること。

6 チーム構成

- (1) 1 校から参加できるのは 2 チームまでとする。
- (2) 1 チームの登録選手は 4 名から 6 名とし、各試合のチェアパーソン（司会）は、原則として肯定側チームの生徒（登録選手である必要はない）が担当する。
- (3) 各試合への出場選手は 4 名とし、試合ごとの選手の入れ替えは可能とする。
- (4) 引率教員は 1 チームにつき 1 名とし、当日は試合のジャッジを担当するものとする。

7 論題（全国大会における論題に準ずる）

Resolved: That Japan should significantly relax its immigration policies.

日本は、移民政策を大幅に緩和すべきである。是か非か。

8 日程詳細

参加チーム数が確定した後、組合せとともに参加校に通知する。

9 競技規則

基本的には全国高校生英語ディベート大会に準じるが、参加校数等を考慮し、若干の変更もあり得ることから、詳細については参加校に後日通知する。

10 大会申込方法

参加申込書（様式1）を下記担当者まで電子メールにて9月5日（火）までに申し込むこと。

11 上位大会への出場権・経費等

- (1) 優勝校1校は県代表として本年12月に埼玉県川越市の東京国際大学で開催される第12回全国高校生英語ディベート大会への出場権が与えられる。なお、参加校が10校以上の場合は上位2校に出場権が与えられる。
- (2) 全国大会への参加経費については、参加校負担とする。
- (3) 全国大会に出場権を得たチームが参加辞退を申し出た場合、次点のチームが出場権を得るものとする。

12 その他

- (1) 平成29年度中高連携英語力向上推進事業「英語ディベート研修会」（6月28日付け通知済）においてジャッジ講習会を行うので、本大会の引率教員はこの研修会に参加することとする。詳細については、別添（参考3）参照のこと。
- (2) 本大会は、本県出身の詩人宮沢賢治が花巻農学校（現 花巻農業高校）での教師時代、既にディベートを授業に取り入れていたことにちなんで、Kenji Cupと命名して開催するものである。

担 当

学力向上担当

指導主事 松本 諭（まつもと さとし）

TEL: 019-629-6162 FAX: 019-629-6144

Email: satoshi-matsumoto@pref.iwate.jp